

「彩の会」平成 29 年度秋の例会報告

里の紅葉が見頃となった11月22日(水)、写真の会「彩の会」の撮影会を兼ねた秋の例会が、7名の会員の参加者を得て岐阜県美濃市の「大矢田神社」と「美濃市内」一帯で開催されました。

大矢田神社周辺の「もみじ谷」には、約3000本のヤマモミジの原生林があり、国の天然記念物に指定されています。また、美濃市常盤町・相生町・本住町・泉町一帯はうだつの上がる町として有名です。

午前9時に名古屋の金山に集合し、会員の運転するレンタカーで東海北陸道を走り、美濃インターを出て午前10時前に大矢田神社に着きました。神社で開かれる「ひんここ祭り」の前日に当たっており、多数の紅葉見物客で賑わっていました。参加の皆さんは、境内のそれぞれのポイントに散り、紅葉盛りのカエデや神社を入れて盛んにシャッターを切ってみえました。

お昼前に美濃市内に移動し、うだつの上がる町並みを見学しながら撮影をしました。昼過ぎには市内の料理屋に移動し、昼食をとりながら例会を開催しました。各自の近況報告などの後、上高地の自然風景や地元の古墳で撮ったスナップ写真など持ち寄った会員自慢の作品を鑑賞しました。ご参加の会員の皆さんがそれぞれお元気でご活躍されている様子が伺えました。午後2時過ぎ、来年春の再開を約束して帰途に着きました。

【参加者】（敬称略）高澤茂樹、小木曾稔、佐藤壽洲、富田主計、鈴木慎吾、藪田敏行、都築春彦

※ 「彩の会」も会発足当時の会員の方々が年々ご引退されるようになり、ここ数年参加人数が減少傾向にあります。新しい会員の方々の入会を切望します。特に若手の方々の入会を期待しております。入会ご希望の方は、幹事までご連絡ください。（鈴木 記）







